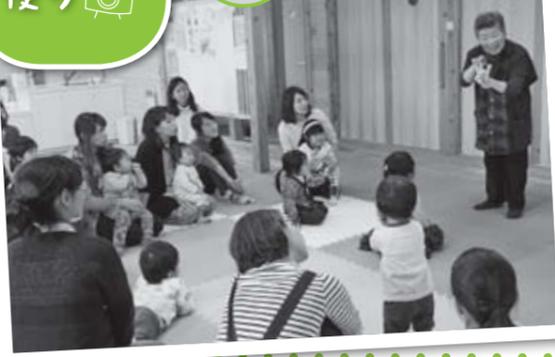


3/24

「わらべうた」で愛が伝わる



子育て支援センター「すくすく」で、わらべうたに親しむイベントが開かれ、18組・44人の親子が参加しました。講師の近藤信子さんは、触れ合いの中で愛情を伝え情緒を育むわらべうたの遊びを次々に紹介。「初めて聞く歌がほとんど」「親子で楽しめました」と参加者には新鮮な体験となったようです。また同行したスタッフによるバイオリン二重奏や早口言葉も会場を楽しませました。

◀さまざまなわらべうた遊びを。右端が講師の近藤さん

3/27

やまゆり保育所の修了式

やまゆり保育所で修了式が行われ、5人の修了児が証書を受け取りました。式では中井田多美子所長が「宝物のような思い出をいただきました。毎日泣かないで通ったことをほめてあげてください」とあいさつ。また、修了児の成長をスライドショーで振り返り、保育士が一人ひとりに記念品を手渡しなど、涙と笑顔がいっぱいのあたたかな式となりました。



保護者・職員と共に記念撮影。皆で成長を喜び別れを惜しみました▲

- ### 3月の主なできごとと村の動き
- 1日・県立相馬農業高等学校飯館校 卒業式（県立福島明成高校体育館）
 - ・春季火災予防運動 防火訪問（伊達東応急仮設住宅）
 - 4日・飯館村土地改良区通常総代会（飯館出張所）
 - 3月17日・村議会3月定例会（飯館出張所）
 - 3月16日・9月13日・16日・申告相談（福島市飯館学習センター青木分館）
 - 8日・NPO法人日本動物介護センター避難犬の里帰り（村役場本庁駐車場）
 - ・飯野・明治仮設住宅自治会総会（飯館地域福祉センター）
 - ・飯館中学校 卒業式（飯館中学校仮設体育館）
 - 9日・飯館村第3期中間地域等直接支払推進協議会代表者会議（村役場本庁）
 - ・飯館村までいな除染会議（村役場本庁）
 - ・管理人会議（飯館出張所）
 - 14日・南台自治会総会（南台ふれあいセンター）
 - 15日・松川第一仮設住宅自治会総会（松川第一応急仮設住宅集会所）
 - ・大森地区自治会総会（NTT大森住宅集会所）
 - 18日・草野・飯館幼稚園 卒園式（草野・飯館幼稚園仮設園舎）
 - ・いいたてまでいな復興計画推進委員会 答申（飯館出張所）
 - 19日・1歳6か月児健診（子育て支援センターすくすく）
 - 20日・第3回飯館村農業委員会定例会（飯館出張所）
 - ・いいたて農地・水・環境保全向上対策推進連絡協議会総会（村役場本庁）
 - 22日・松川第二仮設住宅自治会総会（松川第二応急仮設住宅集会所）
 - ・吉倉宿舎自治会総会（吉倉公務員住宅集会所）
 - 23日・旧松川小仮設住宅自治会総会（旧松川小応急仮設住宅談話室）
 - ・飯館村飯野町団地自治会総会（ふれあいほたるまつぼっくり）
 - 24日・草野・飯館・白石小学校 卒業式（草野・飯館・白石小学校仮設体育館）
 - ・定例教育委員会（飯館出張所）
 - 26日・転出教職員合同離任式（飯館出張所）
 - 27日・村議会第30回東京電力福島第一原子力発電所事故災害復興対策特別委員会（飯館出張所）
 - ・飯館村復興整備協議会（福島県庁）
 - ・やまゆり保育所 修了式（やまゆり保育所）
 - 28日・松川雇用促進住宅自治会総会（松川雇用促進住宅集会所）
 - 29日・「東日本大震災復興に寄せるチャリティコンサート」参加（東京都豊島区東京芸術劇場）
 - ・相馬仮設住宅自治会総会（相馬大野台応急仮設住宅集会所）
 - ・国見仮設住宅自治会総会（国見上野台応急仮設住宅集会所）
 - 30日・飯館村までいな除染会議 提言書提出（飯館出張所）
 - ・蓬萊県営住宅自治会総会（伊達市・カップ王国）

火災多発の季節 「防火訪問」で注意喚起

3/1

伊達東応急仮設住宅で、飯館分署と村消防団、村女性消防隊による防火訪問が行われました。この訪問は、3月1日から7日まで全国一斉に実施される「春の火災予防運動」に合わせたものです。空気が乾燥するこの時期は、暖房器具がまだ使用されていることもあり、ちょっとした不注意から火災が発生しやすくなります。隊員は各戸を回り、住宅の状況などを確認しながら防火の呼びかけを行いました。

1軒ずつ訪問し防火の取り組みを呼びかけました▼



ひと月のできごとを
振り返ってお知らせします

3/4

村産のイチゴ香る紅茶が完成しました



▲フリーズドライのイチゴが香る「福恋いちご」の缶を手にと「感謝しています」と話す佐藤社長夫妻

二枚橋地区の「いいたていちごランド（佐藤博社長）」のイチゴを使った紅茶「福恋いちご」が完成し、村役場本庁で報告会が開かれました。この事業は県が実施している「ふくしま新発売。」復興プロジェクトによるもので、製造には「世界の紅茶・緑茶専門店ルピシア」が全面的に協力しています。会では、県担当者の報告に続いて、菅野村長らが甘く香る紅茶を試飲し、イチゴの豊かな風味を確かめていました。

「福恋いちご」は非売品。県復興イベント等で活用される予定です。

ふくしま新発売。「福恋いちご」
HP <http://www.new-fukushima.jp/fukukoiichigo>



書籍「被災犬「じゃがいも」の挑戦」も12月に出版されています

岐阜県のNPO法人「日本動物介護センター」から、同センターで災害救助犬の訓練を受けている「じゃがいも」ら村民の愛犬10頭が、5か月ぶりに里帰りをしました。同行して村役場本庁を訪れた同センター理事長の山口常夫さんによると、預けられた46頭のうち現在では12頭が飼い主の元に戻って暮らしているそうです。山口さんは「慣れ親しんだ場所をよく覚えていますから、犬にもふるさとの感覚があると感じます」と再会のようすを見守っていました。

愛犬たちが里帰り

3/8



今回飼い主の元に戻る2頭の犬と、元気なようすにほっとした表情の飼い主家族 ▲